

## 千葉県における温室効果ガス排出量(2008年)

### 1 温室効果ガス排出量の実態

千葉県の2008年における温室効果ガスの総排出量は81,121千t-CO<sub>2</sub>となり、基準年の74,282千t-CO<sub>2</sub>より9.2%増加している。排出量のピークは2000年の83,788千t-CO<sub>2</sub>。

表1 千葉県における温室効果ガス排出量の推移

(単位：千t-CO<sub>2</sub>)

|               | 1990年<br>(基準年)     | 2000年  | 2006年  | 2007年  | 2008年  |
|---------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|
| 温室効果<br>ガス排出量 | 74,282             | 83,788 | 79,255 | 83,075 | 81,121 |
| 基準年比(%)       | —                  | +12.8  | +6.7   | +11.8  | +9.2   |
| 目標値           | 2010年に1990年比で▲1.3% |        |        |        |        |

### 2 二酸化炭素排出量の推移

千葉県における1990年から2008年の排出部門別の二酸化炭素排出量は、2000年をピークに2006年までは減少傾向にあったが、2007年に81,157千t-CO<sub>2</sub>と1990年以降で最も多い排出量となった。

しかしながら、2008年は景気低迷の影響もあり、79,203千t-CO<sub>2</sub>と2002年と同程度の排出量となっている。

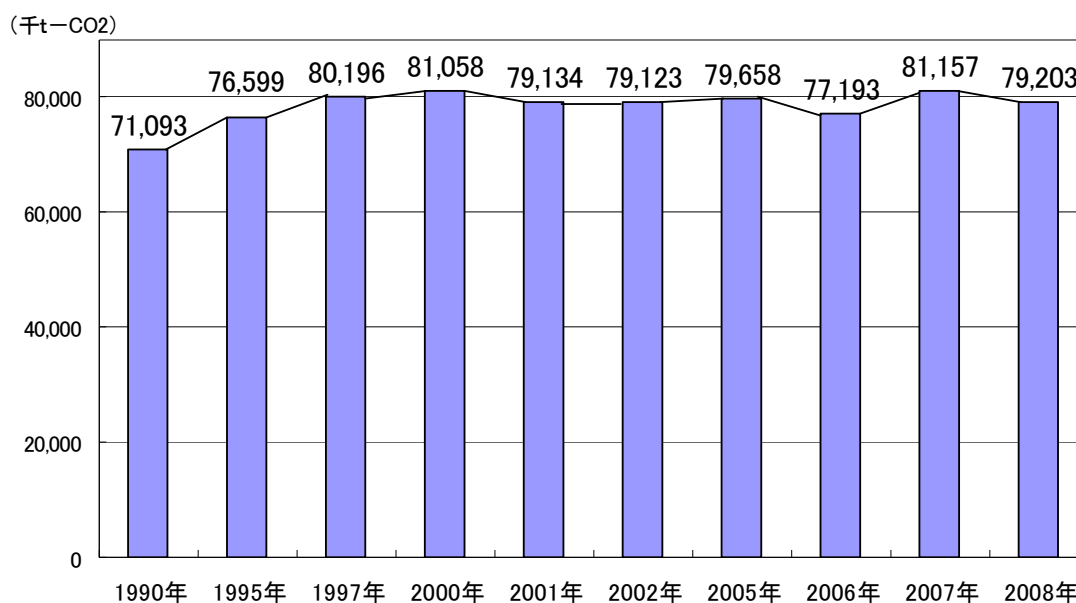


図1 千葉県における二酸化炭素排出量の推移

### 3 部門別の二酸化炭素排出量について

#### ○産業部門

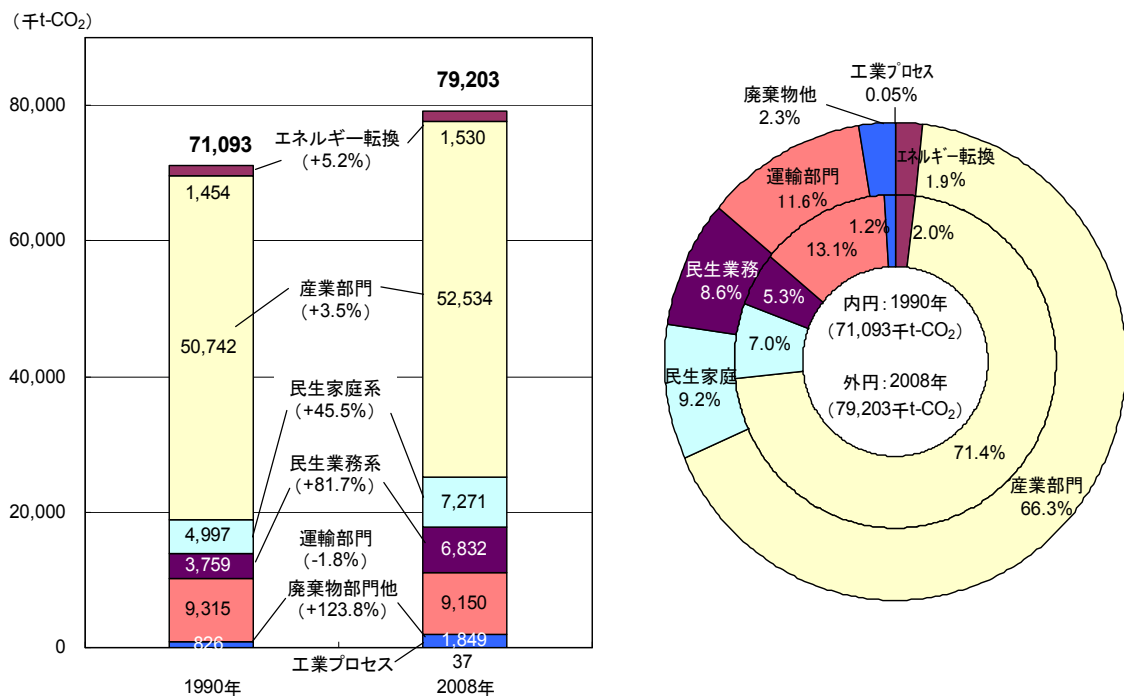
全排出量に占める割合(66%)は大きいですが、基準年に比べての伸び率(+3.5%)は小さい。

#### ○民生業務部門、民生家庭部門、廃棄物+上下水道部門

全排出量に占める割合は小さい(民生業務(9%)、民生家庭(9%)、廃棄物+上下水道(2%))が、基準年に比べて伸び率(+46~124%)は大きい

#### ○運輸部門

全排出量に占める割合は、産業部門に次いで多い(12%)が、排出量の推移は横ばい(▲1.8%)である。



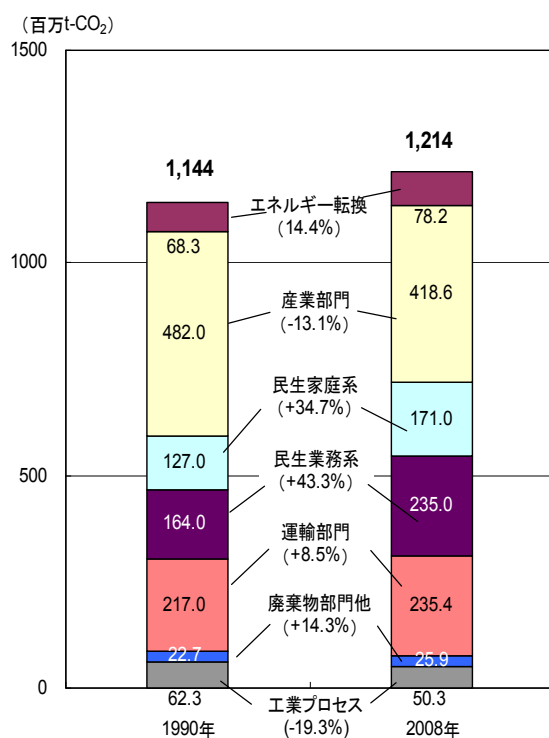
<対基準年比較>

図2 千葉県における部門別二酸化炭素排出量の伸びと構成比

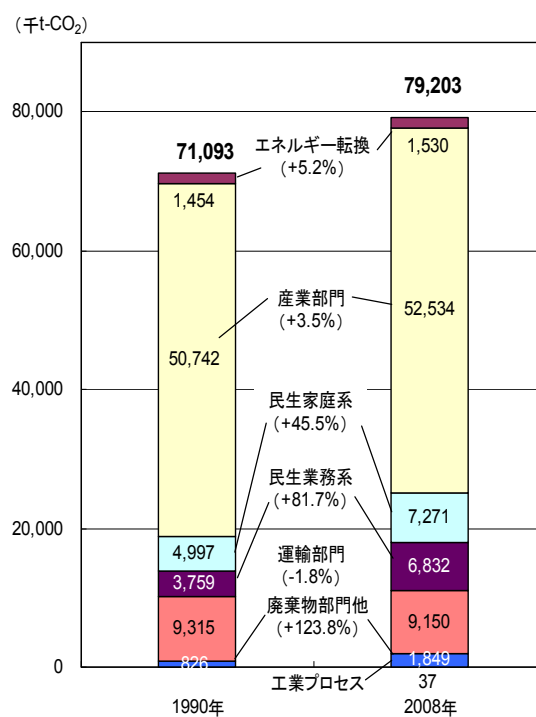
(参考) 千葉県と全国における二酸化炭素排出量の基準年(1990年)との比較

(単位：%)

|                   | 全 国    | 千 葉 県  |
|-------------------|--------|--------|
| 産 業 部 門           | ▲ 13.1 | + 3.5  |
| 民 生 業 務 部 門       | + 43.3 | + 81.7 |
| 民 生 家 庭 部 門       | + 34.7 | + 45.5 |
| エ ネ ル ギ ー 転 換 部 門 | + 14.4 | + 5.2  |
| 運 輸 部 門           | + 8.5  | ▲ 1.8  |



<全国>



<千葉県>

図3 千葉県と全国における二酸化炭素排出量の状況